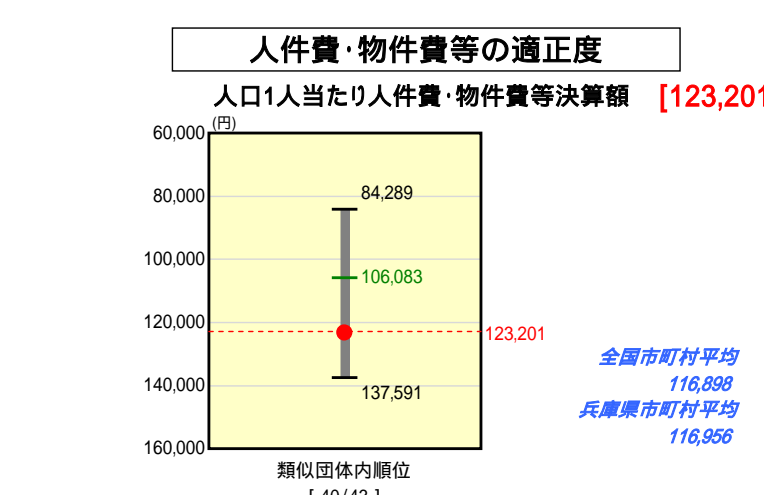
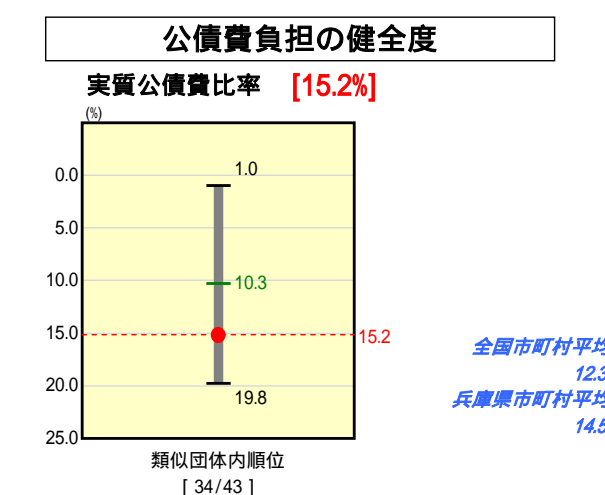
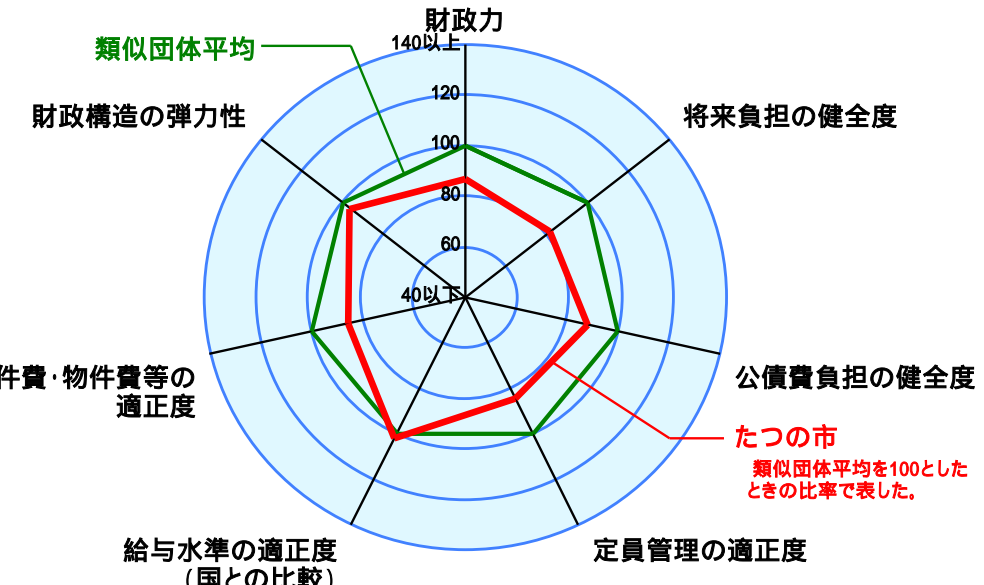
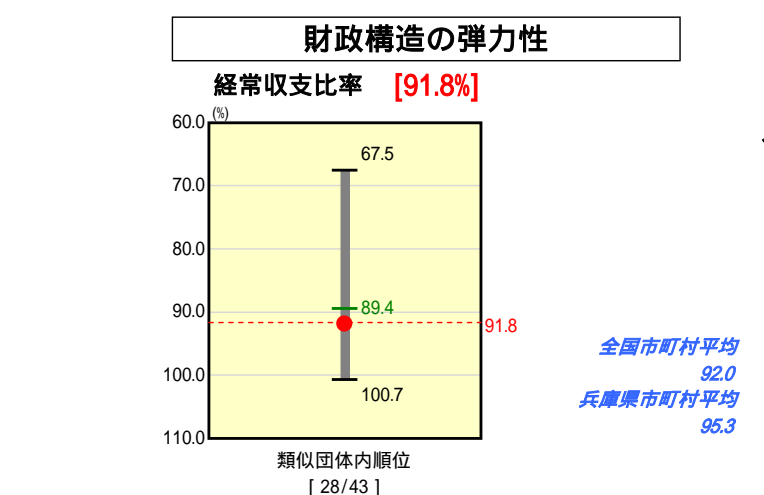
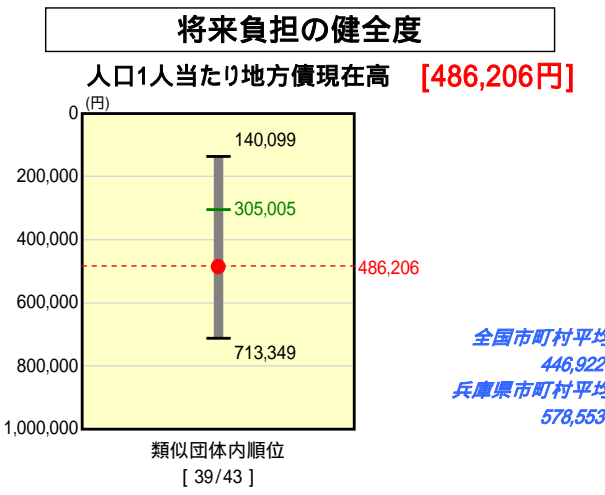
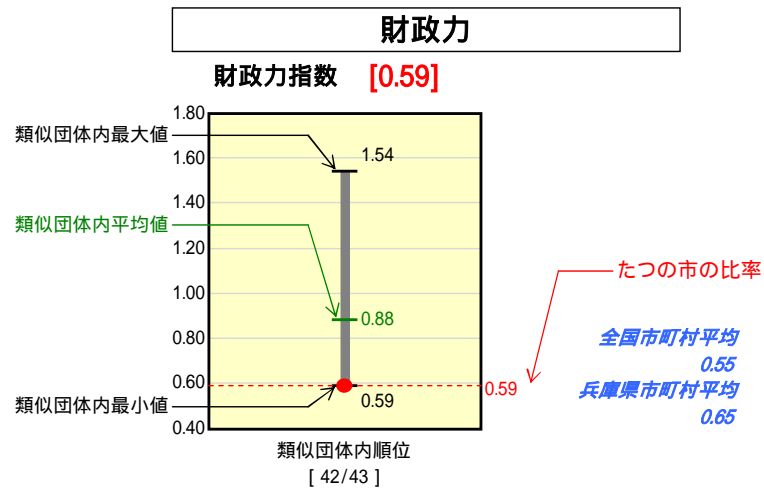


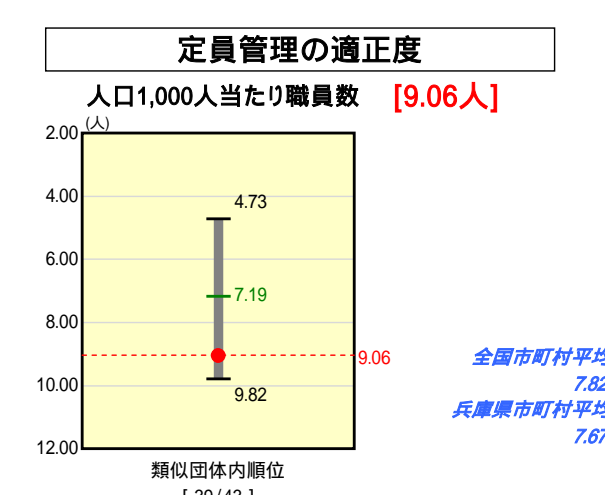
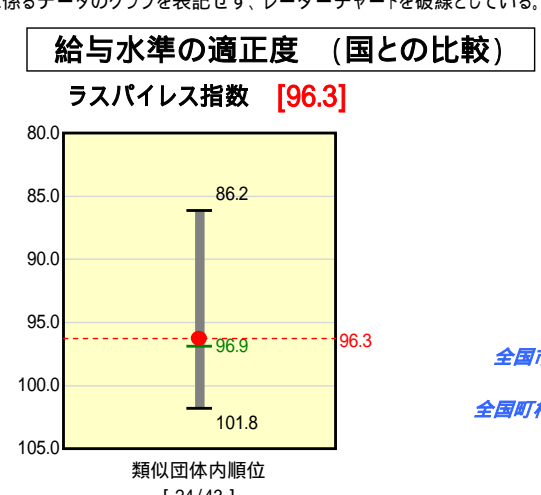
# 市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

## 兵庫県 たつの市

人口	81,674 人	(H20.3.31現在)
面積	210.93 km <sup>2</sup>	
歳入総額	32,196,532 千円	
歳出総額	31,933,923 千円	
実質収支	229,568 千円	



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。  
平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。  
ラスパイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年度地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

**財政力指数**  
景気回復に伴う増収もあり、昨年度より0.04ポイント改善した。引き続き行政改革による歳出削減や自主財源確保等に取り組んでいく。

**経常収支比率**  
下水道事業等への繰入金や公債費が増加傾向にあり財政の硬直化が進んでいる。経常収支比率90%以下を達成するため、下水道使用料等の見直しや物件費の毎年5%削減、補助金の統廃合、人件費の削減など歳出削減に取り組むとともに、税の徴収率向上や各種使用料見直しといった歳入確保に努めていく。

**人口1人当たり人件費・物件費等決算額**  
物件費については引き続き削減を継続しているものの、合併による職員数の増加により人件費が類似団体を上回り、全国平均よりも高い決算額となっている。現在取り組んでいる職員定員適正化計画を着実に実行し、総人件費の削減に努めていく。

**人口1人当たり地方債現在高**  
新市建設計画に基づく事業の本格化を迎え、合併特例債発行額が高水準で推移する見込である。今後年度計画見直しや事業精査により発行額の抑制と平準化に努めていく。

**実質公債費比率**  
19年度決算では都市計画税が控除財源とされたことなどもあり、3ヵ年平均で15.2%に低下した。今後、新市建設計画に基づく投資的事業の本格化と公営企業、特に下水道に対する資本費繰出の増加により上昇が見込まれるが、3ヵ年平均で18%を超えないよう起債発行額の抑制に努めていく。

**人口1,000人当たり職員数**  
職員数は、18年度740人から19年度709人と31人減少したものの、依然類似団体よりも多く、引き続き職員定員適正化計画に基づき定数削減(10年間で18%の削減)に取り組み、併せて行政組織の見直し、民間活力活用等を図っていく。

**ラスパイレス指数**  
19年度は引き続き若手職員を除く職員の昇給停止を行い、さらに20年度は地域手当についても3%から0%として総人件費の抑制を図っている。今後とも各種手当等の更なる見直しを進めていく。